

脳卒中などの脳損傷に伴って、失語、失行、失認、記憶障害、注意障害などの認知行動障害、感情障害、人格変化など生じることが知られている。このような高次脳機能障害に伴う適正な評価や対応には、多職種が連携し、チームとして協力してゆく必要がある。超高齢社会となった現況において、ますますこの問題は大きく、心理学の専門家として果たす役割は大きいと思われる。本シンポジウムでは、高次脳機能障害における医療の現状を紹介していただき、心理学の役割について考えたい。

高次脳機能障害の実際と 心理学の役割

企画
松井 三枝
(金沢大学)
岩原 昭彦
(京都女子大学)
平井 啓
(大阪大学)

司会
松井 三枝
(金沢大学)
丹野 義彦
(東京大学)

● 東京会場・話題提供者
三村 将 (慶應義塾大学)
高次脳機能障害の臨床
坂爪 一幸 (早稲田大学)
高次脳機能障害とリハビリテーションと心理学
緑川 晶 (中央大学)
神経心理学的アセスメントについて

● 金沢会場・話題提供者
森 悦朗 (大阪大学)
行動神経学と神経心理学
平林 一 (鹿教湯病院)
高次脳機能障害における心理臨床の現状
小海 宏之 (花園大学)
神経心理学的アセスメントについて

2019 **10.6** (日)

13:00-17:00 定員240名【入場無料】
(開場 12:30)

■東京会場

東京大学 駒場キャンパス 21KOMCEE East K011 番教室

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

▼京王井の頭線 駒場東大前駅

●案内図 http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html



2019 **11.10** (日)

13:00-17:00 定員200名【入場無料】
(開場 12:30)

■金沢会場

金沢大学 サテライトプラザ

〒920-0913 石川県金沢市西町三番丁16番地 金沢市西町教育研修館内

▼バス(北陸鉄道) 武蔵ヶ辻で下車後、徒歩約5分

●案内図 http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/default.htm



参加申し込み方法 (事前申込制)

日本心理学会ホームページにてご案内しております申し込みサイトより、該当の「シンポジウム名」と「開催日」をご確認の上、必要事項(アンケートを含む)を入力してお申し込みください。氏名、フリガナ、性別、年齢、メールアドレス、電話番号、職業、日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号。

・参加希望の方は「必ず」事前にお申し込みください。受付番号をお知らせします。お申し込み多数の際は、ご入場いただけない場合がございます。

・往復はがき、Faxでのお申し込みも受け付けますが、各シンポジウム、各開催日、各申込者ごとに必要事項の記入、返信用宛名の記入、返信用Fax番号の記入(必須)をお願いいたします。

・お知らせいただいた個人情報は、受付の目的のみに利用いたします。

